

参考となる成果整理表

# 2022 年漁期の底びき網漁獲努力量の震災前との比較

福島県水産資源研究所 資源増殖部

## 1 部門名

水産業一資源管理一底びき網

## 2 担当者名

岩崎高資

## 3 要旨

福島県の沿岸漁業は本格操業に向けた移行期間にあり、底びき網漁業においては漁獲量を計画的に拡大している。合理的・効率的な操業拡大を支援するため、底びき網漁業における操業データを解析した結果、2022 年漁期の福島県沖における漁獲努力量は震災前の 26%まで回復し、1 時間曳網あたりの漁獲量（以下、CPUE とする）は震災前の 2 倍以上となり良好な資源状況を維持しているものの、海域別の漁獲努力量に偏りが見られた。今後は、県南の沖合へ漁獲努力量の分散を進めることで、漁場集中による資源への影響を軽減しながら漁獲量を増大することが可能と考えられた。

- (1) 2022 年漁期の漁獲努力量は合計 19,144 時間となり、福島県沖では震災前の約 26%まで回復した。また、漁獲量は 3,504 トンとなり、福島県沖では震災前の約 63%まで回復している。CPUE は 1 時間曳網あたり 183kg となり、福島県沖では震災前の 239%となった。(表 1)。
- (2) 海域を 5 分メッシュに分け、2022 年漁期における曳網時間を図示した(図 1)。2022 年漁期は福島県沿岸全域の水深 100m 付近と 37° 25' 以北の水深 200m 付近で曳網時間が多かったが、県南の水深 150m 以深では漁獲努力量が少ない海域が見られた。

表1 漁獲努力量・漁獲量・CPUE

漁期	地区	曳網時間(時間) (カッコ内の数字は隻数)				漁獲量(トン)				CPUE (kg/h)
		沖底 (県北部)	沖底 (県南部)	小底	合計	沖底 (県北部)	沖底 (県南部)	小底	合計	
震災前3 漁期平均	全海域	64,344(29)	22,631(11)	27,979(21)	114,954(61)	6,054	2,254	1,397	9,705	84
	福島沖	28,221	17,950	26,140	72,311	2,540	1,688	1,305	5,534	77
2022年漁期		10,882(23)	2,388(7)	5,874(19)	19,144(49)	2,578	325	601	3,504	183
震災前との比率(全海域)		17%	11%	21%	17%	43%	14%	43%	36%	217%
震災前との比率(福島沖)		39%	13%	22%	26%	101%	19%	46%	63%	239%

※県北部: 相馬原釜 県南部: いわき地区

※漁獲量は標本船日誌と統計値で大きい方の値を採用

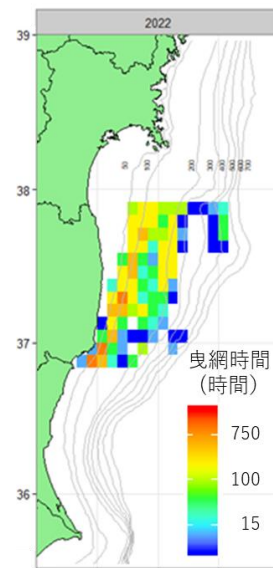


図1 漁獲努力量の分布図

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3~7 年度
- (2) 研究課題名 カレイ類資源管理手法の開発

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 2020 年漁期の底びき網漁獲努力量の震災前との比較、令和 3 年度普及に移しうる成果